

第3号様式

令和4年度第5回社会教育委員会議会議録

(令和5年3月14日作成)

1 開催日時

令和5年2月14日(火曜日) 午前10時7分から午前11時26分まで

2 開催場所

市役所本庁舎 6階 602会議室

3 出席者

(1) 委員 草野滋之、上内健生、平尾美佐、高橋利明※、磯野一男
能勢恵美※、大賀泰代、林憲作

(2) 職員 社会教育課長、文化課長、青少年課長、生涯スポーツ課長
中央公民館長、東部公民館長、西部公民館長、北部公民館長
高根台公民館長、西図書館長、市民文化ホール館長
郷土資料館長、青少年センター所長

※オンライン出席

(3) 事務局

社会教育課職員

4 欠席者

酒井美佐子、丹間康仁

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

(1) 連絡・報告事項(公開)

①社会教育課

- ・令和5年船橋市成人式の実施報告について
- ・第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画(第三次ふなばし一番星プラン)における各施策対応事業管理表について
- ・ふなばし自主夜間中学校「ふなラ〜ン」の開校について

②文化課

- ・「第30回音楽のまち・ふなばし 千人の音楽祭」の実施報告について

③東部公民館

- ・第75回優良公民館表彰受賞について

④高根台公民館

- ・公民館利用促進キャンペーン第1弾「公民館でピアノを弾こう」について

⑤西図書館

- ・オンライン講座「ドラマに舞台に！夢は大きく俳優・声優のお仕事～夢を応援！図書館★ミライ図鑑 vol. 4～」について
- ・令和4年度船橋市西図書館所蔵資料展「貴重資料蔵出し展」について

⑥郷土資料館

- ・第11回 海神中学校・飛ノ台史跡公園博物館 合同展
「日本の美を今に活かした作品展」について

6 傍聴者数（全部を非公開で行う会議の場合を除く）

0人

7 決定事項

連絡・報告事項について、意見聴取を行った。

8 議事

次のとおり

9 資料・特記事項

別紙のとおり

10 問い合わせ先

教育委員会 生涯学習部 社会教育課

電話：047-436-2895

午前10時07分開会

○草野委員長

定刻を少し過ぎておりますけれども、これより令和4年度第5回社会教育委員会議を開催いたします。

会議に先立ちまして、事務局より連絡事項がございます。事務局、お願いいたします。

○事務局

事務局でございます。本日、酒井委員、丹間委員におかれましては、欠席との連絡をいただいております。また、船橋市社会教育委員の会議運営に関する要綱第6条の2第1項に基づき、高橋委員におかれましては、オンライン出席となっております。また、能勢委員につきましてもオンライン参加の予定です。通信環境が整い次第参加となります。

船橋市社会教育委員の会議運営に関する要綱第6条に基づく会議の成立委員定数を満たしておりますことから、本日の会議は成立していることをご報告させていただきます。

また、本日はオンライン出席と会場出席の委員がいらっしゃいますので、会議に当たり、ご留意いただきたいことが3点ほどございます。

1点目ですが、会場出席の委員のみで会議を進行してしまわぬよう、ご配慮くださいますようお願いいたします。

2点目です。オンライン出席、会場出席にかかわらず、発言する際には、まず、ご自身のお名前を言っていただきますようお願いいたします。理由といたしましては、設備の都合上、会場出席の委員の一人一人の顔をしっかりと映すことができず、画面上では、どなたが発言しているのか分かりにくくなっております。また、画面上では視線の動きを読み取ることも難しいと考えられますので、ご意見、ご質問等を行う場合は、例えば、「〇〇委員にお伺いしたい」「皆さんにご意見を伺いたい」といったように、お相手の名前を明確にさせていただきますようお願いいたします。

最後に3点目です。オンライン出席の方は発言するとき以外はマイクをミュートにしてくださいようお願いいたします。ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。

続いて、配付資料の確認をさせていただきます。事前にお送りさせていただいております「令和4年度第5回社会教育委員会議 次第」、左側ホチキス留めの「資料」、本日、机の上に置かせていただいております「席次表」「社会教育委員名簿」の4点となります。不足等がございましたらお申し出ください。よろしいでしょうか。

事務局からは以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

それでは、これより会議を進行させていただきます。

本日、船橋市情報公開条例第26条の規定により、船橋市が設置する附属機関の会議は原則公開とされていることから傍聴人の受付をいたしましたところ、傍聴希望者がいなかった

たことを報告いたします。

それでは、次第の1番、連絡・報告事項について、初めに社会教育課よりお願いいたします。

○社会教育課長

社会教育課でございます。よろしくお願いたします。まずはオンラインの不具合で開催時間が遅れてしまったこと、本当に申し訳ございません。

それでは、連絡・報告事項①「令和5年船橋市成人式の実施報告について」。

1月9日の成人式におきましては、草野委員長にはご多忙の中、長時間にわたりご臨席いただき、ありがとうございました。事故もなく無事に終えることができました。

参加者数等、資料1ページに記載しております。参加者数は記載のとおり、4,060名、参加率は65.21%でした。昨年と比べますと3.02ポイントの増となっておりまして、第1部の開式時間を10時45分から12時と大幅に遅くしたことも要因の一つではないかと思っております。

ただ一方で、送迎車による渋滞など課題も引き続き残っておりますので、現在、成人式対象者と保護者に実施しておりますアンケート結果などを参考に対策等を検討してまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、②「第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（第三次ふなばし一番星プラン）における各施策対応事業管理表について」を報告事項に挙げさせていただいております。

12月の社会教育委員会にて、各施策対応事業管理表における点検対象事業についてのご説明をさせていただいたところ、その中で、丹間委員より「目標区分が現状維持の場合、現状で十分だと確認するためにも令和3年度の実績値があったほうがいいのではないか」というご意見をいただきました。それで、令和3年の実績値の入った管理表を今日お配りさせていただくよう準備を進めていたのですが、大変お恥ずかしい話、昨日になって数字の誤りが何点か出てきてしまい、改めて今、精査をしております。出来次第お送りさせていただくようにいたしますので、またそれでご意見等いただければと思います。大変申し訳ございません。

続きまして、③「ふなばし自主夜間中学校『ふなラ〜ン』の開校について」。こちらは、資料はございません。12月の社会教育委員会でお話しいたしました自主夜間中学校「ふなラ〜ン」ですが、2月2日に予定どおり開校いたしました。2月2日、9日、木曜日に開校しているのですが、ともに見学者を含め12名の参加があり、それぞれが学びたい日本語、英語、算数などのグループに分かれて、今後やっていきたいこと、または今困っていることなどの確認を講師と行い、また、ふなばしリカレント教育協会のほうでそろえたテキスト等も確認しながら、その目標に向かってどのように進めていくのか、そういうことを講師と綿密に話しながら学習する姿が見られております。

講師の登録につきましては、50名ほどの方に登録していただいております。毎回5名と、

あとはボランティアで来たいという講師の方もいらっしゃいますので、2日、9日とも10名ほどの講師の方がいらっしゃって、ほぼマンツーマンに近い形で対応できているという状況でございます。

参加した方からは「講師の方がとても親身になってお話を聞いてくれて、来るまでは本当に心配だったけど、今後も絶対に来たい」という言葉や、「とても楽しかった。もっといろいろな人と交流していきたい」などの声を聞くことができました。両日参加、継続して来られたのは6名で、そのほかの方は1回目だけ、2回目だけで、2日間とも外国籍の方は4名から5名でございます。

今後も生徒の皆さんが安心して学べる居場所となることを目指すとともに、新たな一歩を踏み出せるよう、応援してまいりたいと考えているところでございます。

社会教育課からは以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいま社会教育課より3点ほどご説明がありましたけれども、このことについて委員の皆様、ご意見、ご質問はございますでしょうか。はい、どうぞ。

○磯野委員

磯野と申します。牟田課長にお聞きいたします。

先ほど、成人式の実施報告がありましたけれども、報告の中では、1部の開始時間を遅くしたというのが参加率を高めたのではないかという分析だと言われましたけれども、私、興味があるのは、よく報道によると、随分派手にやっちゃったり、会場でお酒を飲むことはないと思うのだけれども、持ち込んでいる人がいたり、酔った人が入ってきたり、いろんなことがありました。何かそういうことはなかったのか、式の状況としてどうだったのか、ということをお教えいただければと思います。

○社会教育課長

結果としては、確かに、アリーナの敷地内でお酒を飲んでいる成人は見かけました。それで私がちょっと行って、「せっかく盛り上がっているところ悪いんだけど、お酒は駄目なんだよ」と言ったら、「はい、分かりました」と。暴れるような人は一切いなくて、会場内も特に混乱はない。目についたのは1チームですかね。飲み始めたところで注意をしたら、すぐ止めてくれましたので、私は混乱はなかったと思っています。

ただ、旧友と会うということも一つの大きな意義なので、1部が終わってもずっと話していて、その中に2部の方が来てしまう。それで会場から出た後が混乱というか、渋滞状態になってしまう。大変痛ましいですけど、先日の韓国のような状況がありましたので、警察のほうからも、階段付近のほうはもっと促すようにしてくれという指示があって、こちらメガホンを持って、そこら辺を促しました。本当に事故はなく終わったのですが、これからもいろいろと改善しなければいけないところはあるなと感じているところでございます。

○磯野委員

ありがとうございました。大変いいなと思ったのですが、私は小学校の教員しかやっていないのですが、中学校の先生方が何人かいらっしゃると思います。確かではないかもしれませんが、何年か前に、成人式の参加者が荒れるようなことが想定できたので、中学校の先生方がそこに行き行って待っている、という話を伺ったことがあります。他市では今もそういうところがあると思うのですが、船橋ではどうなのでしょう。教えてもらえればと思います。これは、中学校の先生がいたらそれでもいいのだけれども、何か分かれば教えてください。

○林委員

旭中学校の林でございます。在校生、卒業生にかかわらず、必要であれば中学校の教員は出向いて、話をしたり、いろいろ対応することはあります。特に、今、公立校の入試の前ですけれども、船橋は特に入試に関しても生徒指導担当を配置したり、そういうことがあります。ただし、私も生徒指導を長くやりましたけれども、成人式に出向いて指導に当たったことはありません。近年、そういう対応をしたという話を聞いたこともありません。

○社会教育課長

社会教育課でございます。私の知る範囲では、中学校長会のほうにそういう依頼をしたことはないという状況でございます。ただ、警察には、以前は文化ホールで行っていらしたので船橋警察、今はアリーナですから東警察ですけれども、かなり多くの署員の方を派遣していただいて、その方たちの見回り、巡視もしていただいている状況でございますので、中学校長会のほうに依頼をするという考えは今のところございません。

○磯野委員

よかった。ありがとうございます。

○草野委員長

私も成人式に参加しまして、成人を迎えた若者たちの生き生きとした姿が随所に現れていまして、自主的に式をつくり上げるという意気込みも伝わってきまして、大変こちらも元気をもらったという感じがします。

それから、18歳、19歳の20歳ではない若者たちも、後輩になるわけですけれども、ボランティアとして式を支える、そういうこともやっています、その点でも新しい動きを感じ取ることができて大変よかったですと思いました。

では、ほかに成人式以外のことでよろしいのですが、いかがでしょうか。委員の皆様からご意見、いかがでしょうか。はい、どうぞ。

○上内副委員長

上内と申します。牟田課長にご参考までに教えていただきたいのですが、昨年に比べて参加率が上がっている要因として時間を遅らせたというのがありますが、それ以外に何か努力されたことがあれば教えていただきたいのと、コロナ禍前に実施されたときの参加率はどれくらいだったのかというのを伺いたい。この2つです。

○社会教育課長

昨年と比べて増えた要因という、やはりコロナに対する考え方とか、そういうものもあると思います。アリーナでの開催は、私どもとしては令和4年が初めてで、過去に何回かやったことはありますけれども、初めてというぐらいのことで、場所が変わったということもあるので、実際にはっきりとした要因は分からないのですけれども、やはりコロナの影響が大きかったのではないかなと感じています。実際、令和5年のオンライン配信視聴回数を載せさせていただいていますけれども、6,615です。去年は1月末でたしか1万2,000ぐらいあったと思います。オンラインで見ている方が多いのは、やはりコロナの影響があったのではないかなと思っているところでございます。

それと、過去の正確な数字を持っていないのですが、62%ぐらいで、65%まで行ったのはここ何年かではなかったことではないかと思っているところです。また改めて、その辺、次の機会にもご報告させていただければと思います。

○上内副委員長

ありがとうございました。

○草野委員長

ほかにいかがでしょうか。

自主夜間中学校の「ふなラ〜ン」が開校したということで、継続して6名、全体としては12名ということですが、12名という参加者の数は、想定していた数と比べてどうなのでしょう。やや少ないという印象なのでしょう。

○社会教育課長

ふなばしリカレント教育協会とも話したのですが、初日、待っている間、1〜2名来ればいくらかかなと思っていたのが正直なところですので、2日間とも12名、見学者を含めてですけれども、参加いただいたということは本当にうれしく思っているところで、想定よりかなり多いというところでございます。

○草野委員長

ありがとうございました。こういう自主的な、日本語を学ぶ、そして、学び直しをしていく場というのは非常に貴重な機会だと思います。公立の夜間中学というものも、千葉県、あるいはほかの県でも少しずつ開設される動きも出てきています。そして、外国籍の方が4〜5名という話でしたが、今後、さらに日本に来られる外国籍の方も増えていくであろうと想像されます。それから、やはり不登校の問題も今非常に深刻で、そういう子供、若者たちも増えてきているということもありますので、非常に貴重な場だと思います。ぜひこの機会を生かして広げていければと期待しております。

それでは、ご意見がないようでしたら次の課題に入ります。

○事務局

事務局です。能勢委員との通信環境が整いましたので、ただいまより能勢委員が会議に参加となります。皆様、よろしくお願いたします。

○草野委員長

続きまして、文化課よりお願いいたします。

○文化課長

文化課からは第30回の「千人の音楽祭」の実施報告をさせていただきます。

千人の音楽祭は、生で、船橋アリーナでやるのが3年ぶりということで、今回、行わせていただきました。今まではケーブルテレビ、J:COMでの放送ということで2年間行ってきました。

当日は草野委員長にもお越しいただき、ありがとうございます。出演者数としては1,267人。こちらは、ふだんは2,000人ぐらいの出演者なのですが、やはりコロナの関係で学校の生徒さんを絞ったというところもございます。

来場者に関しましては、いつもどおりという感じで、2,030人今回お越しいただきました。3年ぶりなので、実行委員会、運営側の勘を取り戻すのが結構大変だったのですが、始まってみると、かなりスムーズにできたのではないかと思います。

その中で、来場者の方々からいろいろ感想もいただいております。ほとんどの方が「3年ぶりで感動した」ということで、涙流している方も結構いらしたという感じでございます。

当日はアートディレクターの北川フラムさんもお越しいただきまして、感想としては「レベルが高いのにすごく驚いた」とおっしゃっておりました。アンケートの中では「来年度、また千人の音楽祭があったら見に行きたいですか」という質問に対して、「ぜひ見に行きたい」「可能なら見に行きたい」を合わせて97%の方が「また来たい」という形で言っていただきましたので、来年の励みにもなっていると思います。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいま、文化課のほうから千人の音楽祭の実施報告がありましたけれども、このことについて委員の皆様から、ご意見、ご質問などありますでしょうか。

○磯野委員

また教えてください。直接関係ないことかもしれませんが、感動したという感想が多いということで大成功だったと思います。2,000人以上が入場されたということですが、素晴らしい会だと思います。

先ほどの成人式もアリーナでやりまして、これもアリーナですけども、素晴らしい感動があったり、スポーツだといいいゲームを見られたりということで、いい会場だなと私は思っているのですが、一つ私の中で問題だなと思っているのは、皆さんはどうか分かりませんが、自動車を使って行くと、出るのに1時間くらい時間がかかります。のんびりやっている。だから、終わりまで見ないで途中で帰ってしまう。感動を味わわないで帰る。あるいは最後まで見てイライラして帰る。せっかくの素晴らしいセレモニーとかイベントも、あの駐車場の現状ですと、電車で行けということだと思いますけれども、なか

なかそうもいかないときもありますので、どうにかならないものかと何年も前から思っていました。これは私だけではないかもしれませんが、その辺の対応策とか、今後、何かありましたら、これは、生涯スポーツ課長のほうですかね。違うかな。そうだね。教えてもらえればありがたいです。お願いします。

○生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課長です。ただいまご質問いただいた駐車場の問題は、船橋アリーナに限らず、スポーツ施設はどこでもイベントがあると渋滞を巻き起こす現状がございます。今年の夏も運動公園のプールを3年ぶりに開催した際には、土曜日、日曜日に周辺が渋滞をして、2時間以上動かない状態があったということも聞いておりまして、渋滞対策は抜本的な道路の問題等も含めて解決すべき重要な課題だというのは市としても認識しているところです。

特に船橋アリーナにつきましては、近隣に住宅施設がありまして、ほかに主要の道路を取り付けることができない現状もあります。それから、入り口付近の部分が市の所有地ではなくて、日大さんの土地を借りている現状もあることから、できるだけ公共交通機関を使って参加していただきたいということを促すのが精いっぱいというところでございます。

ジェッツさんの試合の際には、ジェッツさんのほうで新京成さんとバスの協定を結んでいる形になっていますので、そういった方法も含めて検討していただけるとありがたいなというところでございます。

○文化課長

ちなみに、千人の音楽祭ですけれども、出演者の方に関しましては、中の駐車場を使ってしまうと本当に大変なことになってしまいますので、坪井小学校、坪井中学校等をお借りして、そちらのほうに駐めていただき、そこから歩いていただくという形をとらせていただいております。

もう一つ先ほどお伝えし忘れたのですが、千人の音楽祭を当日見られなかった方に関しては、J:COMのケーブルテレビで、3月5日と3月12日、3月5日が20時から、3月12日が9時から、1時間半の特別番組をつくりました。そちらで放送されますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○草野委員長

ありがとうございました。千人の音楽祭は、もう30年続いているということで、非常に歴史があるといえますか、それで3年ぶりの現地開催ということで、まさに、たまっていたエネルギーが爆発したような、そういう印象を受けました。非常に活気があって、生き生きして、出演者の意欲が感じられる、大変すばらしい音楽祭だったと思います。

こういう地域的なイベント、音楽祭、これだけの大変規模も大きくてすばらしいイベントをしている例は全国を見てもあまりないと思います。まさに船橋市が誇れる文化的な、非常に貴重なイベントだと思っております。30回を迎えたということもありますので、総括するなり、あるいはその記録を編集して冊子として残したり、積み重ねてきた歴史を振

り振り返りながらそれをまとめていく。そういう作業も今後必要なのではないかと思っています。

私も船橋市の文化行政について少し調べたことがあるのですが、戦後初期から、文化に非常に熱意を持つ方々が中心になって、合唱ですとか、管弦楽、あるいは読書活動ですとか、様々な面での文化的な運動なり活動を進めてきた歴史があります。ですから、そういう全国にも誇れる船橋市の文化行政、あるいは文化運動、そういうものの歩みというものを少し振り返りながら、千人の音楽祭も含めて記録として残しておく。そういう作業も今後必要になってくるのではないかと考えておりますので、ご検討いただければと思います。

オンラインで参加されている高橋委員、能勢委員からいかがでしょうか。千人の音楽祭、文化課からの報告に関して、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

○能勢委員

はい、大丈夫です。

○草野委員長

ほかに文化課からの報告については、ご意見、ご質問ございますでしょうか。特にないようでしたら次の課題に参ります。

続きまして、東部公民館よりお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。よろしく申し上げます。資料は4ページでございます。優良公民館表彰の受賞につきまして報告させていただきたいと思っております。

先日の2月3日に文部科学省庁舎におきまして、東部公民館が第75回の優良公民館表彰を受賞しましたことをご報告申し上げたいと思っております。この優良公民館表彰につきましては、文部科学省が昭和23年度から毎年実施しており、公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を表彰している制度ということでございます。

東部公民館は、これまで新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「新しい生活様式」への対応を図るため、インターネットを利用した事業、資料のほうにも数点の事業を掲載させていただきましたけれども、歴代の職員の皆さんや、または地域の方々のご協力をいただきながら、こういった事業を展開してきたことが評価され、授与されたものではないかと思っています。

今後も時代とともに変化する公民館を目指して、ICTを活用した事業の推進など、地域の皆さんのニーズに応えられるよう、引き続き取り組んでまいりたいと思っております。

以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいま、東部公民館より優良公民館表彰受賞ということで大変名誉な話なのですが、全国的に見ても、特に ICT を活用した事業の推進ということが大変高く評価されたということです。委員の皆様から、この件についてご意見、ご質問等がありますでしょうか。

○高橋委員

よろしいでしょうか。

○草野委員長

はい、どうぞ。

○高橋委員

高橋と申します。今日はオンラインですみません。よろしくお願いします。

今、さらっとご報告をされましたが、これだけのことをやられるのはすごいことだと思うのです。特に ICT を活用して何か新しいことをしようと思うと、その組織の中で非常に ICT に強い方がいらして、その方がこれならできるという形で推進するというイメージなのですが、それが、失礼ですが公民館という場で、これだけ新しいことにチャレンジするというのは大変だったのではないかと推察します。その辺り、どうしてこの企画が実現していくことができたのか、ということをお教えいただきたいなと思います。よろしくお願いします。

○東部公民館長

先ほど申しました歴代の職員さんから、今現状、我々、東部公民館の職員が引き継いでこういった事業を展開しているのですが、もちろん、今、委員がおっしゃるように、やはり ICT に長けた、得意な分野というところも当然あるかと思っております。そういったものと、または、いろいろなホームページから情報収集した中で、こういったことができるのか、全国的にどういった事業が展開されているのか、これは全国公民館共通の課題でもございますので、そういった情報をいろいろと収集しながら事業に取り組んできたところでございます。

○高橋委員

ありがとうございます。私も高齢者介護のほうにいますが、ICT の推進はすごく難しいので、ぜひ、これだけのことができたことを横に波及する形で、ほかの公民館でもやっていただけたら素晴らしいなと思いますので、そんなことも考えていただけたらと思います。

○草野委員長

ありがとうございました。コロナの中で、ICT 活用ということが大変重要な、社会全体の課題になってきたということがあります。社会教育だけではなくて学校教育、それから介護の現場、そういうところで ICT をどういうふうを活用していくか、それが大きな課題になっているわけです。

高橋委員が言われましたように、ICT に非常に強い知識や技術を持っている方、そういう中心になる人がいれば、かなり ICT 活用はスムーズに行くと思うのですが、そういう方がいない場合には非常に苦勞して、なかなかうまくいかないということが出てきています。

学校でも ICT 活用ということが盛んに言われて進められているわけですが、学校によって格差があるというか、そういう知識を持った方がいらっしやればすばらしい実践もできるのですけれども、多くの場合、まだ十分そこまでいっていないという状況があります。

ですから、公民館に関してもそういう面が恐らくあると思います。東部公民館だけではなくて、先ほど高橋委員も言われましたように、もう少し広げていくというか、ほかの公民館にも広げる、あるいは学校教育とも連携しながら広げていく。そういうことも今後ぜひ、大変名誉な受賞も一つのバネにしながら、今後の ICT 活用の発展というものにつなげていけたらと期待しておりますので、よろしく願いいたします。

ほかに東部公民館からのご報告に対するご意見、ご質問はありますでしょうか。どうぞ。

○大賀委員

宮本小学校、大賀でございます。今、ICT の学校教育の話が出ましたので、少し東部公民館さんから離れてしまうかと思うのですが、紹介させていただきたいと思います。

小学校には1年生から6年生までという年齢の幅が広い子供たちがおります。本校には、幸せなことに、ICT に長けている教員がおりますので、1年生も学校に来て自分でタブレットを開いて、健康状態を入力したりということが、1,080人ほどいるのですが、全員できるようになっています。

システムを工夫することによって、小さい子でも活用できるということが学校では分かっておりますので、うちが使っているシステムをどうぞという形で紹介して広がったりということもございます。逆に、「こういうのがいいよ」ということでお互いに学校間で共有することもあります。どこでもそういう長けた方がいらっしやるわけではないので、その辺については学校間でやり取りをして進めているところございます。

若い教員が大変多いので、取り入れることには積極的です。使い方によってはとても有効だなと、私はあまり得意な世代ではないのですけれども、その辺のところも感じるところです。ちょっとお話がそれてしまいましたが、学校現場の様子をお知らせいたしました。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいま学校教育の現場のお話をさせていただきましたけれども、そうですね、私が所属している大学においても、ICT ということが大変重要な課題になって進められておりまして、私ももうかなり高齢になってきているので、ICT に対する苦手意識というものもあるのですが、若い教員の方はその辺は慣れているという話で、今の若者たち、学生たちも、ICT にはそんなに抵抗なく、すんなりとやっていく。その辺がやはり世代的な格差というかデジタルデバイド的なものもありますが、そこを何とか乗り越えて、学校現場でもいろんな世代の教員が協力しながらやっていく。そして、やや苦手というふうに感じている教員の人も、それから、IT に強い教員の方も協力しながらやっていく。公民館でもそういう

ことがあると思いますけれども、お互いに連携、協力ということを活かしながら ICT 活用を進めていく。それが今、大事な課題になっていると改めて思いました。

続きまして、高根台公民館からお願いします。

○高根台公民館長

高根台公民館でございます。私からは「公民館利用促進キャンペーン第1弾『公民館でピアノを弾こう』」につきまして連絡させていただきます。資料は5ページから7ページになります。

この事業は既に1月から開始されており、7ページに記載の9公民館で取り組み、3月までを予定しております。

本事業につきましては、第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）のリーディングプロジェクトとして掲げられております「地域の拠点『公民館』の充実」への取組として、新しい利用者層の開拓を図ることを目的に、公民館職員、基幹館館長、地区館館長、また、事業担当者等で立ち上げましたワーキンググループで企画されたものでございます。

公民館によっては、ほぼ決まった曜日や時間帯に空き部屋が生じるという状況がございます。まして、そこにピアノがあるのならば、これを有効活用することができないかと考えました。併せて、誰もが気軽に広い講堂の舞台や防音機能のある音楽室でピアノを演奏できる機会があったら良いのではという思いから企画されました。

この事業をきっかけに、親子で発表会前などの練習、公民館事業などで演奏していただけるような地域の人材の発掘、他楽器とセッションすることによるサークル化など、新たな人と人とのつながりを生み、公民館をより身近な存在に感じていただければと思います。

ちなみに、1月の実施状況でございますが、9館で行い、全体で46.8%の応募がございました。特に夏見公民館では、夜の時間帯で実施いたしましたが、100%の応募状況がございました。また、アンケート結果からは、このうち、公民館をふだん利用されていないという方が約38%いらっしゃいました。

感想としましては、「参加して大変よかった」「よかった」との回答が100%。ご意見として「音楽室で音量を気にせずに演奏することができました」、また、「ふだん使用する機会がない講堂という広い場所でピアノを演奏することで音の広がりを感じることができました」、また、ご自宅にピアノがないという方のご参加がありまして、「非常に助かりました」ということでした。

この事業、1コマ1時間でやっていますので、ご意見の中には「もう少し時間があつたらいいな」というものもございました。

頂戴いたしました意見に今後耳を傾け、こういう方々が継続的に公民館を利用していただけますよう、公民館側から積極的にアプローチしていくとともに、より公民館が地域の拠点として充実が図れるよう努めてまいりたいと思います。

私からは以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいま、高根台公民館から公民館利用促進キャンペーン、その第1弾ということで、「公民館でピアノを弾こう」という非常に魅力的な企画が紹介されて、大変好評であると。そして、ふだん公民館を利用していない方が40%近い数になっているということで、公民館を利用する方々の裾野を広げていく上で非常に魅力的で面白い企画だと思いました。

ただいまの報告についていかがでしょうか。委員の皆様から何かご意見、ご質問ありませんでしょうか。

○能勢委員

能勢でございます。よろしいでしょうか。

○草野委員長

どうぞ。

○能勢委員

お取組の報告、ありがとうございます。委員長からもお話があったように、本当にすばらしいお取組だと思いました。

私のほうからは2点ほどありまして、1点目は、積極的なアプローチをして、こういうことを告知していきたいというお話でしたが、具体的にはどういう告知方法を実際やられていらっしゃるのか、不勉強で申し訳ありません、教えていただければと思います。

2点目は、これは第1弾ということで、公民館をいろんな方にご利用いただくというキャンペーンの一つだと思うのですが、第2弾、第3弾とこれから続いていくものなのか、もし、第2、第3の構想があれば教えていただければなと思いました。よろしく願いいたします。

○高根台公民館長

まず、1点目、告知方法でございますが、今回、「広報ふなばし」と各館のホームページはもとより、船橋のイオンにあるデジタルサイネージで告知をしたということがございます。あとは「Yahoo!くらし」というところ、これは、Yahoo!の中にタグがございますが、「地域のお知らせ」ということで載せさせていただきました。

2つ目として、第2弾はというご質問だったと思います。第2弾につきましても、ただいま紹介したワーキンググループの中で、今度は、いろんな方々がこれをやりたいということを、例えば、公民館には「ダンスがしたいのですが」というお問い合わせがある中で、その方々と指導者、今、社会教育課に指導者の一覧の冊子があるのですが、あとは市民協働課でも、講師になりたいという団体の登録がございますので、そういう方々とうまくマッチングすることができないかということを考えております。今、このワーキンググループは引き続き検討中で、もう来年の実施を考えておりますので、また詳細につきましては、この委員会でご報告、ご連絡させていただければと思います。

○能勢委員

ありがとうございました。私もガールスカウトという団体で、公民館は毎月何回も利用させていただいていますけれども、こういう新しい取組があつて、新しい人が来ていただくことによって、ほかの公民館の行事に対しても関心が向けられるのではないかと思いますので、こういった取組をこれからもますます拡大していただければと思います。ありがとうございます。

○草野委員長

ありがとうございました。ほかに。

この公民館利用促進キャンペーンは、今後の公民館活動を考える上で大変大事な取組だと思います。ほかの委員の方々から、このことについてご意見、ご質問ありますでしょうか。

では、今後、何か気がつかれたことがありましたら、ぜひ公民館のほうにご意見をお寄せいただければと思います。

続きまして、西図書館からお願いいたします。

○西図書館長

西図書館でございます。資料は8ページ、9ページをご覧ください。これから開催する事業を2点ほどご報告させていただきたいと思います。

まず8ページのほうですが、西図書館はオンライン講座「ドラマに舞台に！夢は大きく俳優・声優のお仕事～夢を応援！図書館★ミライ図鑑 vol.4～」を3月25日（土）に開催いたします。

図書館では市民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営を実施することを目的に、市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える地域の情報拠点を目指しています。子供の可能性を伸ばす図書館像をグランドビジョンとした第二次船橋市図書館サービス推進計画を策定しております。

子供の可能性を伸ばす図書館を目指すことを基本的な運営方針の一つとして掲げておりまして、様々な事業を行っており、その一つが「夢を応援！図書館★ミライ図鑑」でございます。これからの将来を考える10代から20代を主な対象といたしまして、これまでに、「小さなりゅう」シリーズなどで知られる船橋在住の絵本作家や、宮部みゆきなどベストセラー作家を世に送り出した編集長などをゲストにお迎えいたしまして、ふだんは聞くことができない職業の裏側、魅力について語っていただき、これまでも大変好評の企画となっております。

4回目を迎えます今回は、船橋市出身で俳優・声優の相葉裕樹さんがゲストで登場いたします。「スーパー戦隊」シリーズやミュージカル「レ・ミゼラブル」など、テレビや舞台、さらには声優など様々な舞台で活躍の場を広げている相葉さんに、演技の魅力ですとか、俳優という仕事の舞台裏、夢をかなえるまでの苦労などをたっぷり語っていただきたいと考えてございます。

図書館ではこれからも、夢や目標に向かって邁進する未来ある若者たちを応援してい

たいと考えております。

続きまして、9ページをご覧ください。令和4年度船橋市西図書館所蔵資料展「貴重資料 蔵出し展」についてご報告でございます。

西図書館では所蔵する貴重資料を市民の皆様に鑑賞していただく所蔵資料展を毎年開催しております。これまでは浮世絵を中心とした展示会を多く行ってまいりましたが、西図書館の貴重資料コレクションは古文書・地図・絵図・拓本など幅広く、希少な資料も数多くございます。そこで今回は「貴重資料 蔵出し展」と題しまして、これまであまり展示していない選りすぐりの資料を中心とした展示会を開催する予定でございます。

展示は豊臣秀吉が行った太閤検地による土地台帳「天正検地帳」で千葉県指定文化財であるものや、江戸時代の洋風画の開拓者である司馬江漢の絵画など、様々な資料を展示いたします。この機会にぜひご覧いただければと思います。

西図書館からは以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

ただいま、西図書館のほうから報告がありましたが、委員の皆様、オンラインで出席の委員の皆様も、ご意見、ご質問等がございますでしょうか。

「夢を応援！図書館★ミライ図鑑」という企画、それから「貴重資料 蔵出し展」。2つとも図書館の魅力的な取組だと思います。若者たちの将来の夢だとか、あるいは職業ですとか、そういうことについて今の若者たちは大変いろいろ考えたり、学校のキャリア教育でもそういうことが行われていると思いますけれども、やはり自分の将来像というものをどういうふうに描いていくかということで、大事な学習の機会になると思います。図書館がそういう若者を支援して応援していく、そういう取組をしているということで大変貴重な取組だと思います。

この「蔵出し展」は、本当に貴重な資料が展示されるということで、先ほどの「ミライ図鑑」もそうなのですが、中学生、高校生、小学生も含めて、子供たち、若者たちがこれに参加するような、そういう仕掛けといたしますか、積極的に参加を促す、そういった図書館側からのアプローチというか、仕掛けはどうなのでしょう。どういう形で行われているのでしょうか。

○西図書館長

そうですね、様々な事業をできるだけ若い皆さんにお伝えしたい、そして、図書館ですので、読書につなげたい、というものがございます。

まず、西図書館は、ほかの図書館もそうなのですが、学習コーナーがございまして、学習目的にお勉強しに来る方々は非常に多くいらっしゃいます。ですが、その皆さんが、実際に本を借りて帰られるかという、まだまだそうでない部分があるかなと考えております。ですので、そういった学習コーナーの近くに、若い子向けのお便りも置いたり、新しい本の紹介を試みたり、またはこういった事業は、若い人たちがとっつきや

すいように、Twitter ですとか、SNS ですね、そういったものを活用して、できるだけ広報紙より早めに周知して、できるだけ早く申し込めるようにするという工夫をしております。

参加型では、若い子向けの図書コーナーの中で、「この本が楽しかったよ」とか、「こんな主人公が楽しかったよ」というようなコミュニケーションボードがございます。様々な観点で、読書を通した広がりや図書館を介してつくってもらえたらいいなと考えております。

○草野委員長

ありがとうございました。

地域と学校が協働ということが今盛んに言われていますので、そういう意味では、図書館、公民館を含めて、社会教育の施設と学校がどういうふうにならなうまくなつて連携していけるか。そして、学校の総合学習ですとか、そういった時間を活用しながら、こういう社会教育の企画には参加する。そういったこともぜひ今後考えていければと期待しておりますので、よろしく願いいたします。

ほかに西図書館の報告についていかがでしょうか。ご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしいですか。

○林委員

旭中学校の林でございます。今のお話を聞かせていただきまして、大変すばらしい企画だと思えます。先ほど ICT の話が出ましたけれども、各教科、ICT を取り入れてということで、中学校も大分進んでおります。ただ、私の教科は社会科ですけれども、やはり実際に見るとか、体験するということは非常に大事なことだと思えます。SNS やオンラインもそうですけれども、子供たちも、すぐ何か見ることはできると思うのですけれども、自身が体験して、朝読書とかを学校でも盛んにやっていますけれども、読書につなげるということはすばらしいことだと思うのです。

キャリア教育もしかりですけれども、こういう若者にインパクトのある方、声優とか俳優に憧れる子供たちはたくさんいますよね。ですから貴重なお話を聞かせていただく中で、何か方向性が見えたり得るものがあつたらいいなと思いました。

以前に図書館で太宰を取り上げて展示されたことがあつたと思えますけれども、すばらしい企画だと思えました。船橋にそういう文化がある。ぜひ見に行くと生徒たちにそのとき話をしましたけれども、ぜひ、今後もこういった企画をお願いできたらと思えます。ありがとうございました。

○草野委員長

ありがとうございました。

ほかにご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ただいま、能瀬委員が所用によりまして退席されましたので、ご報告いたします。

では、最後になりますが、郷土資料館よりお願いいたします。

○郷土資料館長

郷土資料館よりご報告いたします。資料は最終の 10 ページ、こちらをご覧ください。「第 11 回 海神中学校・飛ノ台史跡公園博物館 合同展『日本の美を今に活かした作品展』について」をご説明いたします。

平成 23 年度より、飛ノ台史跡公園博物館と隣接する海神中学校は、博学連携事業として、海神中学校の美術科と連携事業を実施してきております。今年度の 1 学年の美術科の事業では、博物館所蔵の縄文土器のスケッチを行い、また美術部では 7 月、8 月に開催いたしました縄文コンテンポラリー展に、縄文時代をモチーフとした作品を展示してもらっております。生徒たちは「日本の美」をテーマに、縄文土器をはじめとする様々な日本の美しいものと出会い、学習を進めてきております。その生徒たちの足跡をご鑑賞いただきたく、今回開催するものです。

会期は 2 月 19 日（日）から 3 月 5 日（日）まで。会場は飛ノ台史跡公園博物館 1 階ギャラリーとなります。展示内容につきましては、1 年生の陶芸作品、2 年生の和菓子デザインと布の型染め、美術部の壁掛けレリーフです。

なお、期間中、海神中学校の保護者、先生たち、関係者は 1 階ギャラリーのみの鑑賞については入館無料といたしております。

以上でございます。

○草野委員長

ありがとうございました。

では、ただいまの郷土資料館のご報告についていかがでしょうか。委員の皆様、オンラインで出席の委員の方々、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

「日本の美を今に活かした作品展」ということで、これも中学校と博物館が連携をして行っているということで、先ほどの図書館の報告にも関わりますけれども、こういう博物館との連携、学校との連携、これも非常に新しい、今の時代状況の中で非常に重要な、大事な取組だと思えました。

美術科の授業と連携をしているということで、学校だけではなかなかうまくできないことも、博物館とうまく連携すると学びが大変広がってくるということもありますので、大変大切な企画だと思えました。

委員の皆様からいかがでしょう。何かご意見、ご質問等がありますでしょうか。

○磯野委員

学校教育の場ではないような気もするけれども、関連しているのでちょっと教えてもらえればと思います。どなたに聞いたらいいか分かりませんが、多分、博物館かな。公民館も関係していると思うけれども。

私、学校に勤務をしていましたが、今、何を感じたかという、すばらしい取組をいっぱい紹介されていていいなと思います。私が現職の頃もやっていたのだろうけれども、残念ながら公民館に引率した経験がほとんどない。図書館にも連れていった経験がないです。中央公民館には宮本にいたときに何度か連れて行きました。毎年そこで音楽発表会をやっ

ていたのです。1,000人ぐらいを歩かせて一緒に行ったのを覚えていますけれども、あとはそんなに行った経験がない。いやあ、失敗したなあと思っっています。

市内にこういう施設がたくさんありますけれども、中央にやはり多いですね。海神もそうだし、宮本もそうだし、中央公民館もそうです。東部公民館もちろんそうですけれども、船橋にはたくさんあります。

私が大穴のほうに勤めていたときに思ったのですが、中央でない学校のお子さんたちに、図書館は移動がありますから移動で見たことはあるけれども、市内で、中央の学校と田舎とありますか、新京成の奥地のほうのところだと、やっぱり環境が違うなと思えてしょうがない。何か工夫が、これは学校が責任を取るのだと思うのだけど、公民館や博物館さんたちが、そういうところの子たち、あるいは先生方も来られるような取組とか、そういうのがあったら教えてほしいなと思いました。ありがとうございます。

○中央公民館長

中央公民館でございます。今、委員のほうからお話しいただいた中で、例えば、学校と連携している事業では、ハッピーサタデー事業というのがございます。小学校の子供たちが中心となる事業ですが、小学校のほうに「公民館でこういう事業がありますよ」というご案内を配らせてもらって、毎月1回、どこの公民館でもハッピーサタデー事業を行っている状況がございます。

そういった中で、学校の校長先生のほうに、「こういう事業がありますので、よろしくお願ひします」ということで、皆さんにご案内いただき、それでご参加いただいている事業がまず一つございます。

そのほかにも、学校と連携した事業として、例えば家庭教育セミナーがございます。各公民館、それとPTAの方々と連携を組みながら、学校のほうに紹介させてもらって、参加いただいている事業を毎年実施しています。それだけではなくて、いろんな学校との連携というのは大事だなというふうに思います。

話がそれしてしまうかもしれないですけども、中央公民館でいうと、湊中の子供たちにこどもまつりというものがあって、その中で、中学校の子供たちにボランティアとして来ていただいて、一緒に小さい子供たちのためにお手伝いいただくというようなことも一つやっております。

各公民館、例えば、三田公民館は中学校とも併設している。海老が作公民館もそうですけれども、そういった公民館もございますので、その中での連携というのは、すごく大事ななと思っております。今後とも、お互いに何か協力し合えることがあれば、一緒にやっていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○社会教育課長

そもそも地区コミュニティに公民館を1館ということで整備させていただいております。24コミュニティ、最後、坪井が一つのコミュニティになった後に坪井公民館ができて、一応地区コミュニティの拠点としての整備はできているところです。ただ、元のコミュニテ

ィの大きさが違うところもありますので、便利かどうかというのはあると思います。

公民館の整備といたしますと、一応、当初目標としていた地区コミュニティに1館、そして、豊富地区には北部と小室、法典地区には法典と丸山、それぞれ2館ずつあって、地区コミュニティ以上に全部で26館あります。当初の目標は達成しているところでございます。

○磯野委員

ありがとうございました。

○郷土資料館長

博物館からも一つご報告させてください。

委員おっしゃるように、博物館は中央の部分にはなく薬円台、習志野市との市境のほうにございます。今回ご紹介した飛ノ台史跡公園博物館は、新船橋駅最寄りになりますので船橋中央、また、大型バスを止められるスペースもございます。

いかんせん、郷土資料館においては薬円台公園の敷地内ということで、大型バスを止めおくことができない施設になりますので、小学生の学校見学という形での来館は非常に困難なところがございます。今現在は、船橋アリーナの大型バスを止めるスペースをお借りして見学を行ってもらってはおりますが、やはり実際の実物資料を見もらうためには、それぞれの博物館、資料館に足を運んでもらうことが一番だと思います。ただ、コロナ禍において、先ほど来お話がありますが、デジタルを通じての展示物の紹介等を行い、また、実物資料を直接持って、学校での「移動博物館」という出前講座等も行っております。

この多くの事業内容を、それぞれの先生たちが理解していただいた上でどんどん相談いただけることで事業の幅、厚みも広がると思いますし、子供たちの理解度も深まると思いますので、まずは何か気になったことがありましたら、博物館をはじめ、それぞれの社会教育施設にご相談いただくのが、まず手っ取り早いと私は思っております。よろしく願います。

○磯野委員

いろんな回答をありがとうございました。本当に勉強になりました。小学校も中学校も校長会という組織がありますので、そういう組織の中で校長先生方に話をしてほしかった。多分していると思いますね。私が聞いていなかったのかもしれませんが。

ここの委員になって初めて聞くようなこともありましたし、勉強不足を感じましたけれども、そういう会にできれば皆さん方に行ってもらって、あるいはチラシを配るだけではなくて、今のようなことをちょっと一言言ってもらっただけで、自分の学校も連れて行こうと思う人がいっぱいいると思います。そんなことも利用促進というか、うまく使ってもらえたらいいなと思います。ありがとうございました。勉強になりました。

○草野委員長

どうもありがとうございました。

先日、千葉県の葛南地域の生涯学習振興大会というのがありまして、私も参加してきま

したけれども、その会でも大きなテーマとなっていたのが、やはり地域と学校の協働というテーマです。今いらっしゃる上内委員が船橋のPTA連合会の活動についてご報告されまして、大変私も感銘を受けました。そういう学校と地域をつないでいく、その一つの要になるような役割がPTA、保護者の方々のそういう取組でもあるのではないかと、そういうふうに感じました。

ただいま、博物館、図書館、あるいは学校と地域をどういうふうにつないでいくかが話題になっておりますけれども、PTAのほうではそういった活動はどうなのでしょう。今後やっていかれる予定といたしますか、そういったことはあるのでしょうか。

○上内副委員長

市長にもお話をしたり、社会教育課の牟田課長もいらっしゃるのですけれども、行政の方々が保護者の方に発信したい情報を、ホームページ等では発信していると思うのですけれども、それはどちらかというと待ちの発信だと思うので、そういった情報があれば、メールで各校とつながっていますので、行政が届けたい情報をP連から各单位PTAの理事さんに情報を発信することによって、そこから単位PTAの保護者に伝わることによって、知らなかった情報を知ってもらえるようなこともあると思います。今のところ社会教育課から依頼を受けたことだけですが、今の博物館や公民館の情報も投げてもらえれば、こちらから情報提供ですということでお届けすることができると思いますので、うまく連携を取りながらできたらなと思っております。

○高橋委員

私も葛南の生涯学習振興大会に参加させていただいて、委員長と同じような感想を持ちました。コミュニティスクール構想等の話もありまして、より地域の実情に合わせて、より学校の実情に合わせて連携が図れるのではないかなと思いましたが、それを考えたときに、地域の学校の近くに博物館や積極的な公民館があればいいですけれども、無いとその地域では資源が少ないということも起きてしまうのかなと懸念として思ったところがありました。ですから、やはり学校がどこまでの地域を守備範囲として見るのかというのは、その情報をキャッチできる人がいるかないかということに左右されてしまうと、それこそ子供たちの教育にも差が出てしまうので、こういった情報を広めることはすごく大事なんだなと思いました。

私もこの社会教育委員に参加させていただいて、本当にこれだけの素晴らしい取組がたくさんあるのだと、知らなかったことばかりだったので、自分としても広めていきたいなと思いました。

また、個人的なことをお話しさせていただくと、「船橋パパ会」という市民団体をつくりましたけれども、これも「パパ講座」とか、地域の子育て情報というのが広報紙やホームページにはあるのですが、知らない人が多い。私たちの団体が媒介になって会員に広げることで知ってもらいたいというような思いもあって立ち上げた団体ですので、もしかするとそういう市民団体とか、そういう思いを持った人が地域にほかにもたくさんいらし

やって、その人たちからも発信してもらおうような伝わり方ができたらいいなど。具体性もなく夢みたいな話ですけども、そういうところで広げていって、どんどんこういう取組を知ってもらいたいなと思いました。

すみません、意見というか感想です。ありがとうございます。以上です。

○草野委員長

今後は部活動の問題も含めまして、スポーツ部活とか文化活動の部活とか、そういったことも地域と連携するというふうなことが出てきているということです。これは社会教育にとって大変重要なテーマになっていくと思いますので、皆様からのいろんなお知恵を出していただければと思います。

では、以上で次第の1番、連絡・報告事項の(1)から(6)までが終了いたしました。続いて、次第の2番、「その他」に参ります。事務局から何かございますでしょうか。

○事務局

事務局からは特に報告事項等はございません。

○草野委員長

では、これにて本日の次第の内容は全て終了いたしました。

本日の議事録署名の委員ですが、名簿の順番ですと高橋委員と平尾委員ですが、よろしいでしょうか。

(両委員、了承)

○草野委員長

お願いいたします。

以上をもちまして、令和4年度第5回社会教育委員会議を終了いたします。本日はお疲れさまでした。

午前11時26分閉会